

第2回 市民ワークショップ 〔活動記録〕

日 時：令和5年1月22日（日）13時30分～16時00分
場 所：JA 南さつまふれあいセンター 大会議室
参加者数：31名（市民18名、アドバイザー1名、設計者7名、担当職員5名）
主 催：南九州市（新庁舎建設推進課）
記 録 者：山下設計・ゲンプラン設計 業務委託共同企業体

南九州市では、令和8年度の新庁舎供用開始に向け、今年度から設計業務に着手しています。

今回は基本設計段階の第2回目のワークショップとして、現時点の基本設計内容の説明、第1回目ワークショップの反映内容を確認した後、開庁前、開庁後の活用方法についてアイデアを出して頂き、まちづくりの拠点として みんなが集まる庁舎に対する多様なご意見をいただきました。

プログラム

1. 開会・主催者挨拶
2. ワークショップの概要・進め方
3. 基本設計案説明（第1回目WSの意見反映箇所）
4. グループワーク①基本設計案概要を聞いてどう思いましたか？
5. グループワーク②新庁舎をどう活用すると良いと思いますか？具体的にどんな活動が必要だと思いますか？
6. グループワーク①②まとめ・発表
7. グループワーク③各テーマについて、どう活用すると良いと思いますか？具体的にどんな活動が必要だと思いますか？
8. グループワーク④それを実現するために、今できることは何だと思いますか？
9. グループワーク③④まとめ・発表
10. 本日のまとめ

1. 開会・主催者挨拶（南九州市新庁舎建設推進課）

2. ワークショップの進め方

アドバイザー 福島 大輔氏（NPO法人桜島ミュージアム理事長）より、今回のワークショップのグラドルール説明を行いました。些細なことでも発言することや、他の人の意見を受け入れること、積極的に意見を出していくことの必要性を説明しました。



3. 基本設計案説明（第1回目WSの意見反映箇所）

設計担当者より、基本設計内容の説明と第1回目ワークショップの意見がどの様に計画に盛り込まれたかの説明を行いました。ご意見は、『イベント』『ユニバーサルデザイン』『歴史・文化』『市民利用・市民開放』『防災・機械設備』『駐車場』の6項目に分類できました。それらの意見を反映して、『閉庁時・休日開放エリア』『多目的・交流コーナー』『キッズコーナー』『展望ラウンジ』『防災広場・防災設備』『駐車場』等を計画しました。動画やパースを用いて視覚的にわかりやすい説明を行いました。



4. グループワーク①基本設計の概要を聞いてどう思いましたか？

基本設計の説明や、第1回ワークショップの意見反映の説明を受けて、各グループに分かれて、感想を付箋に書き出しました。

【閉庁時・休日開放エリア】についての主な意見
「1,3階のみでよいのでは?」「利用する主体は誰か?」
【多目的・交流コーナー】についての主な意見
「予約が必要か?」「中・高生の学習場所にしてはどうか」
【キッズコーナー】についての主な意見
「もう少し広くして欲しい」「休日開放して欲しい」
【展望ラウンジ】についての主な意見
「カフェとして利用したい」「夜間開放して欲しい」
【防災広場・設備】についての主な意見
「日陰が欲しい」「シンボルツリーの管理を継続して欲しい」
【駐車場】についての主な意見
「駐車台数が多いのでは?」
【その他】の意見
「お茶を使ったアピールが欲しい」「特産品販売」などの南九州市のPR方法についての意見が見受けられました。



5. グループワーク②新庁舎をどう活用すると良いと思いますか？具体的にどんな活動が必要だと思いますか？

新庁舎の使い方や、必要な活動について、付箋に書き出して頂きました。

【閉庁時・休日開放エリア】「用事が無くても行きやすくなる様に、新聞や給茶機を設置する」
【多目的・交流コーナー】「月1回のイベントを実施し、SNSで発信する」
【キッズコーナー】「遊具を充実させ、家族利用を促進する」「休日開放エリアに含め、雨の日でも利用できる」
【展望ラウンジ】「交流会の実施」「特産品の試食会を実施」
【防災広場・設備】「子ども達の作品展示」「キッチンカーによる地場食材販売」
【駐車場】「利用者を分けず、空いている場所に案内する」
【その他】「薩南高校生の作品展示スペースを設ける」「情報発信コーナーを積極的に活用する」「商工会、保育園、周辺施設との連携」など外部とのつながりを意識する意見が見受けられました。

グループの意見が出揃ったところで、類似した意見や関連のある内容ごとに付箋をまとめ、意見を整理・集約していきました。



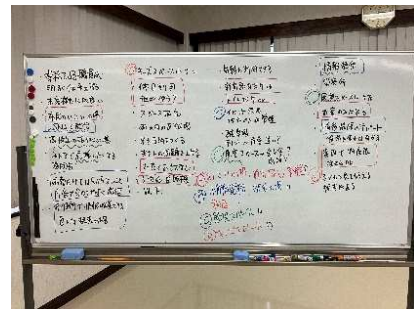
6. グループワーク①②まとめ・発表

各グループで出された意見をまとめ、それぞれ発表してもらいました。

出された意見の中から多いものを、**A.憩いの場・おもてなし**、**B.情報発信・発表の場**、**C.展望スペース**、**D.キッズスペース**、として4つのキーワードにまとめました。

次のグループワーク③から、4つのキーワードについて意見を出していただくため、参加者はそれぞれ興味のあるテーマに分かれました。

その後の休憩時間でも、会場中央に設けた模型などを見ながら、参加者同士で、意見交換やアイデア出しをしている姿が見られました。新庁舎を身近に感じて頂いていることが伝わってきました。



7. グループワーク③各テーマについて、どう活用すると良いと思いますか？具体的にどんな活動が必要だと思いますか？

A.憩いの場・おもてなし、B.情報発信・発表の場、C.展望スペース、D.キッズスペースというキーワードを元に、どう活用すると良いと思いますか？具体的にどんな活動が必要だと思いますか？についての意見とその理由を、各グループに分かれて付箋に書き出しました。

【憩いの場・おもてなし】

「お茶を味わう給茶機の設置」「ゆったり座れるベンチを作る」「プランターの花を置く」など

【情報発信・発表の場】

「薩南高校生の作品展示」「SNS を活用した市内・外への情報発信PR」など

【展望スペース】

「カフェの設置」「多目的交流スペースとの差別化」など

【キッズスペース】

「絵本の貸し出し」「窓口カウンターにも補助椅子を設置する」など



8. グループワーク④それを実現するために、今できることは何だと思えますか？

A.憩いの場・おもてなし、B.情報発信・発表の場、C.展望スペース、D.キッズスペースというキーワードを実現するために、今できることを、各グループに分かれて付箋に書き出していただきました。



【憩いの場・おもてなし】

「自治会にプランターの花を提供し、コンクールを実施する」「昔の映像・スライドを流す」「お茶イベントを開催する」など



【情報発信・発表の場】

「海外への情報発信」「LINE での情報発信」「情報発信専門の係の設置」など

【展望スペース】

「プレ実施する」「バル（食べ飲み歩きイベント）の開催」など

【キッズスペース】

「絵本やおもちゃなどを市民からおすそ分けしてもらう」「窓口カウンターに補助椅子・ベビーカーを据え付けるスペースを確保する」など

9. グループワーク③④まとめ・発表

グループ毎に出された意見をまとめ、それぞれ発表を行っていただきました。

「それぞれのテーマに対して実現する方法を考えることで、自分の意見が市政に反映され、市民の一人としてまちづくりに参画することを実感できてよかった。」との感想も聞かれました。



10. 本日のまとめ

アドバイザーの福島様から「新庁舎を活かすためには市民の皆さんの積極的な参画が重要。今回参加された皆さんは、そのはじめの一步を踏み出したので、今後も意見を出していただきたい。」とのコメントがありました。

最後に新庁舎建設推進課より、「1 回目よりも新庁舎建設の現実味を感じられるようになったのではないかと思います。運用方法についてもご意見をいただいたので、今後、市で検討していかなければならない。

ワークショップは今回で終わるが、庁舎建設後の多目的交流室やイベント広場の活用など、今後もワークショップに参加された皆さんには関わっていただきたい。」とのコメントがありました。

